

和歌山縣報

第三百八十七號

大正五年八月一日
火曜 日

○訓令

○和歌山縣訓令第一七號

福岡縣吏員退隱料遺族扶助料受領ノ爲証明ヲ乞フモノアルトキハ本年七月本縣告示第二二三號ニ依
リ取扱ヲ爲スヘシ

大正五年八月一日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

市役所
町村役場

○告示

○和歌山縣告示第二一二號

左記ノ者頭書ノ番號ヲ以テ本日和歌山縣產婆名簿ニ登錄ス

大正五年八月一日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

番 號

住 所

身 分 氏 名 生 年 月

第九三〇號

東牟婁郡新宮町七千四百九十一番地

平民 川本クニエ 明治二十六年十月生

○和歌山縣告示第二二三號

福岡縣ニ於テ縣吏員退隱料遺族扶助料受領手續別紙ノ通り定メタル旨同縣ヨリ通知アリタリ
大正五年八月一日

(別紙)

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

縣令第二十一號

縣吏員退隱料及遺族扶助料手續左ノ通相定メ大正五年七月一日ヨリ施行ス
大正五年六月二十九日

福岡縣知事 谷口留五郎

縣吏員退隱料遺族扶助料受領手續

第一條 退隱料及遺族扶助料ヲ受クル者ハ直ニ其ノ受領地ヲ知事ニ届出ヘシ變更ノ場合亦同シ

第二條 退隱料及遺族扶助料ヲ受クル者死亡若ハ權利停止消滅又ハ復權ノ事故アリタル時ハ直ニ居

住地市町村長ヲ經テ其旨知事ニ届出(死亡ハ遺族ヨリ)ツベシ

第三條 退隱料又ハ遺族扶助料ヲ受領セントスル者ハ支給期月ノ七日迄ニ其ノ証書ヲ居住地ノ市町

村長ニ提出シ受領証 送金ヲ要スルモノニアリテハ請求書ニ第四條ノ証明ヲ受ケ之ヲ知事ニ提出
スベシ但シ死亡若ハ權利停止消滅ニ際シテハ期月ニ拘ラズ本條ノ手續ヲ爲スベシ

第四條 市町村長ハ第三條ニ依リ証明要求ノモノアリタルトキハ其ノ証書ヲ檢閲シ尙退隱料受給者

ニアリテハ官吏恩給法第十二條及明治三十三年福岡縣令第五號有給縣吏員退隱料退職給與金遺族扶助料給與規程第二條又遺族扶助料受給者ニアリテハ官吏遺族扶助法第十四條及同第十六條ニ抵触ノ有無ヲ調査証明シ本人ニ返付スベシ

○和歌山縣告示第二一四號

海草郡宮村大字秋月四百八番地
開業產婆 林 原 龜 代

右今般廢業ノ旨ヲ以テ願出ニ依リ本日和歌山縣產婆名簿ノ登錄ヲ取消ス

大正五年八月一日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

○和歌山縣告示第二一五號

畜牛結核病豫防法第一條ニ依リ大正五年九月十日ヨリ有田日高二郡ニ於ル畜牛ノ檢査ヲ行フ

大正五年八月一日

和歌山縣知事 鹿子木 小五郎

○和歌山縣告示第二一六號

左記ノ通畜産組合ノ定款變更ヲ認可シタリ

大正五年八月一日

和歌山縣知事

鹿子木 小五郎

記

有田郡産牛畜産組合定款

一、認可年月日 大正五年七月三十一日

二、變更シタル事項

牛ノ生産者ノ外新ニ牛ノ飼育者ヲ組合員ヲ加フ

○和歌山縣告示第二一七號

左記ノ通畜産組合ノ定款ノ變更ヲ認可シタリ

大正五年八月一日

和歌山縣知事

鹿子木 小五郎

記

海草郡産牛畜産組合定款

一、認可年月日 大正五年七月三十一日

二、變更シタル事項

牛ノ生産者ノ外新ニ飼育者ヲ組合員ニ加フ

○通牒

○會第四四三三號

通牒

大正五年八月一日

內務部

郡市役所
町村役場

本年勅令第十四號ニ依ル徵兵旅費ノ總管支辨ニ關スル取扱方別紙通牒ニ接シ候付及移牒候也

(別紙)

內務省第一三二號

大正五年七月二十日

山田內務大臣官房會計課長

鹿子木和歌山縣知事殿

朝鮮臺灣關東洲又ハ樺太ニ居住スル者ノ徵兵旅費ニ關スル件依命通牒

本年勅令第十四號ニ關スル取扱方左記ノ通定メラレ候條御承知相成度

記

一、朝鮮及臺灣ニ居住スル者ニ對シテ該勅令第二項ニ依リ一時從替支辨ヲ爲シ之カ償還ニ付テハ本籍地方廳ニ請求ヲ爲サス特

ニ朝鮮總督府及臺灣總督府ニ仕務命令官ヲ置キ拂戻ノ爲メシムルコト

二、關東洲ニ居住スル者ニ對シテハ該勅令第二項ニ依リ一時從替支辨ヲ爲シ其ノ償還ニ關シテハ該替支辨ヲ爲シメル官署ヨリ

直接本籍地方廳ニ拂戻ノ請求ヲ爲スヘクニ付之ニ對シ仕拂ノ手續ヲ爲スコト

三、樺太ニ居住スル者ニ對シテハ樺太廳ニ仕務命令官ヲ置キ該勅令第一項ニ依リ仕拂ヲ爲サシムルニ依リ本籍地方廳ニ關係ナキコト

○會第四四二三號

通牒

大正五年八月一日

內務部

市役所
町村役場

本年七月本縣訓令第一七號ニ依ル証明ニ必要ナル條項ハ別紙ノ通右

(別紙)

縣令第五號

明治三十三年一月十六日

有給縣吏員退職料退職給與金遺族扶助料給與規程縣會ノ決議ヲ經內務大臣指揮ニ依リ左ノ通相定ム

有給縣吏員退職料退職給與金遺族扶助料給與規程

第一條 有給縣吏員ニハ明治三十三年法律第四十三號官吏恩給法

ニ準用シ退職料ヲ給與ス

第二條 退職料ヲ受ケル者再官他ノ官吏公吏トナリ俸給ヲ受ケル

トキハ其俸給月額ニ退職料月額額ヲ加ヘ退職當時ノ俸給月額ニ超過スルトキハ其超過額ニ對スル退職料ノ支給ヲ停止ス

第三條 有給縣吏員退職又ハ轉任シタルトキハ明治三十三年勅令

第九十八號ヲ準用シ退職給與金ヲ支給ス

第四條 有給縣吏員ニハ明治三十三年法律第四十四號官吏遺族扶

助法ヲ準用シ遺族扶助料ヲ給與ス

第五條 有給縣吏員ハ其給料百分ノ一ヲ縣ニ納ムベシ
第六條 縣立病院職員中左ニ掲ケルモノハ有給縣吏員トシ此規程
施行以前ノ在職年月數ヲ通算スルモノトス

- 一、院長
二、副院長
三、部長
四、副部長
五、技手
六、醫員
七、藥劑師
八、書記
九、機關師

○ 辭 令

○七月二十二日

西牟婁郡田邊町立田邊實業學校長

内田 徳彦

十三級俸下賜
○七月二十五日

西牟婁郡田邊町立常高等小學校訓導

土屋 謙章

西牟婁郡田邊町立田邊實業學校助教諭ニ任ス

月俸貳拾八圓ヲ給ス

木村 増太郎

同校教授ヲ囑託ス

月手當參拾五圓ヲ給ス

同校助教諭心得ナ命ス

月俸貳拾五圓ヲ給ス

田村 みづ

○七月二十七日

大正五年師範學校水泳教師ヲ囑託ス

手當金貳拾圓ヲ給ス

高田 文哉

月俸參拾八圓ヲ給ス

工業學校教諭

今津 義兼

縣立工業學校教諭心得ナ命ス

月俸參拾參圓ヲ給ス

同校助教諭心得

米澤 由治

○ 官 廳 事 項

○教員轉任

市立名古屋商業學校教諭内田徳彦ハ七月二十二日
本縣西牟婁郡田邊町立田邊實業學校長兼同校教諭ニ轉任セリ

○改名

縣立和歌山中學校武藝教師渡邊榮助ハ榮ト改名ノ旨七
月二十七日届出セリ

○ 彙 報

○ 衛 生

○自七月一日至七月十日御坊町「トラホーム」患者治療旬報

種別	一日	二日	三日	四日	五日	六日	七日	八日	九日	十日	合計
生徒患者	一二二名	六二	休	六一	六二	六〇	六七	六四	五九	休	四九五
其他患者	六〇九名	五八	二五〇	二二五	二二一	六七	三一六	四二	二八九	三〇九	二、〇六九
計	七二一名	一二〇	二五〇	二八六	二八三	一二七	三八三	一〇六	三四八	三〇九	二、五六四

○自七月十一日至七月二十日御坊町「トラホーム」患者治療旬報

種別	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日	合計
生徒患者	一一二名	七一	六八	七〇	六三	六四	休	七〇	六四	六九	六〇六
其他患者	六〇九名	三三三	三三四	三〇六	二四九	三八	二五四	二五五	二六九	二九四	二、六三四
計	七二一名	三九四	四〇二	三七六	三一二	一〇二	二五四	三二五	三三三	三七九	三、二四〇

○自七月十一日至七月二十日池田村「トラホーム」患者治療旬報

種別	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日	合計
生徒患者	六九名	四〇	四五	四〇	五〇	四〇	休	四〇	五〇	四五	三九〇
其他患者	二九三名	一四五	一五〇	一四〇	一六七	一四五	休	一三〇	一五五	一四〇	一、三一七
計	三六二名	一八五	一九五	一八〇	二一七	一八五	休	一七〇	二〇五	一八五	一、七〇七

○自七月十一日至七月二十日田邊町「トラホーム」患者治療旬報

種別	十一日	十二日	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	十九日	二十日	合計
生徒患者	名	五三	五三	四七	四七	—	—	—	四八	四二	二九〇
其他患者	名	九八	八七	八〇	七五	七二	七七	九	一〇〇	八〇	七五八
計	名	一五一	一四〇	一二七	一二二	七二	七七	九〇	一四八	一二二	一、〇四八

○ 正 誤

本年六月二十三日縣報第三七六號消防組設置區域追加縣令番號一三號トヲハ二〇號ノ誤

大正五年七月三十一日印刷
大正五年八月一日發行
每月六曜日金曜日發行

和歌山縣知事官房

印刷人 和歌山市本町二丁目三番地 江川文七
印刷所 和歌山市本町二丁目三番地 江川印刷部